

市では、次代を担う人材の育成に向けて、子どもたちの学びの場である市立小・中学校における教育環境の整備に取り組んでいます。令和2年度に実施している「GIGAスクール構想」の実現に向けた取り組みや新型コロナウイルス感染症対策、「新しい生活様式」に対応するための取り組みの一部を紹介します。

「GIGAスクール構想」実現に向けた準備

児童・生徒の情報活用能力を育むために、ICT（※1）教育を推進する「GIGAスクール構想」の実現に向けて、児童・生徒用一人1台のコンピュータ端末や校内通信ネットワーク環境、電子黒板機能搭載プロジェクターなどの整備を進めています。



電子黒板機能搭載プロジェクターと実物投影機

※1…情報・通信に関する技術の総称
※2…無線端末を校内ネットワークに接続するための中継点



授業で使用する新しいコンピュータ端末



端末用電源キャビネット

アクセスポイント（※2）

「GIGAスクール構想」とは？

グローバル アンド イノベーション ゲートウェイ フォー オール 「Global and Innovation Gateway for All」の略。文部科学省が打ち出した児童・生徒を誰一人取り残すことなく、全国一律のICT環境を学校教育の現場で持続的に実現させていくという構想です。新型コロナウイルス感染症の拡大時の対応も考慮に入れ、情報端末、学校ネットワーク環境の整備などが進められています。

子どもたちの未来のために今後も研修を重ねていきます！ ～ICT活用に向けた情報教育担当者などの研修会を開催～

「GIGAスクール構想」実現に向けて、タブレット端末などのICTが各校に配備されることに伴い、市立小・中学校の教員を対象に研修会を開催しました。

「分かる授業」の実現に向けて、授業の中で有効にICTを活用する指導力の向上を目指し、主に授業支援アプリの操作体験や、電子黒板機能搭載プロジェクターと実物投影機の機能の紹介など、ICT活用に向けた研修を行いました。

参加した教員からは「ICTを使った授業のイメージを持つことができた」「実際に体験できたことで少し自信がついた」などの感想が寄せられました。



研修会の様子

感染症対策・「新しい生活様式」に対応

新型コロナウイルスの感染リスクを最小限にしながら、十分な教育活動を継続するため、小・中学校での感染症対策を徹底し、児童・生徒の学びを保障する体制を整えています。

1 和式トイレを洋式トイレに改修

感染症拡大防止のため、小・中学校の校舎と体育館の和式トイレ（職員用を含む）を洋式トイレ（暖房便座）に改修しています。

トイレの洋式化に併せて、便座除菌用ディスペンサーも設置します。



改修後のトイレ



便座除菌用ディスペンサー

2 水飲み場・トイレに自動水栓を設置

児童・生徒が水道の蛇口に直接触れない環境を整備することで、より確かな感染予防につなげるため、小・中学校の水飲み場の一部とトイレの一部に自動水栓を設置しました。



水飲み場



トイレの手洗い

3 小・中学校の一部の教室に冷房設備を整備

夏季の新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスク着用が求められている児童・生徒の熱中症などによる体調不良を防止するため、今夏からの利用に向けて小・中学校の一部の教室に冷房設備を整備しています。

【本年度実施箇所】

- ◆ 小学校
 - ▶ 1・2年生の教室
 - ▶ 特別支援教室
 - ▶ 図書室
- ◆ 中学校
 - ▶ 図書室



来年度以降も順次、冷房設備の整備を進めていく予定です。